

IOWN INTEGRAL

NTT R&D FORUM 2024

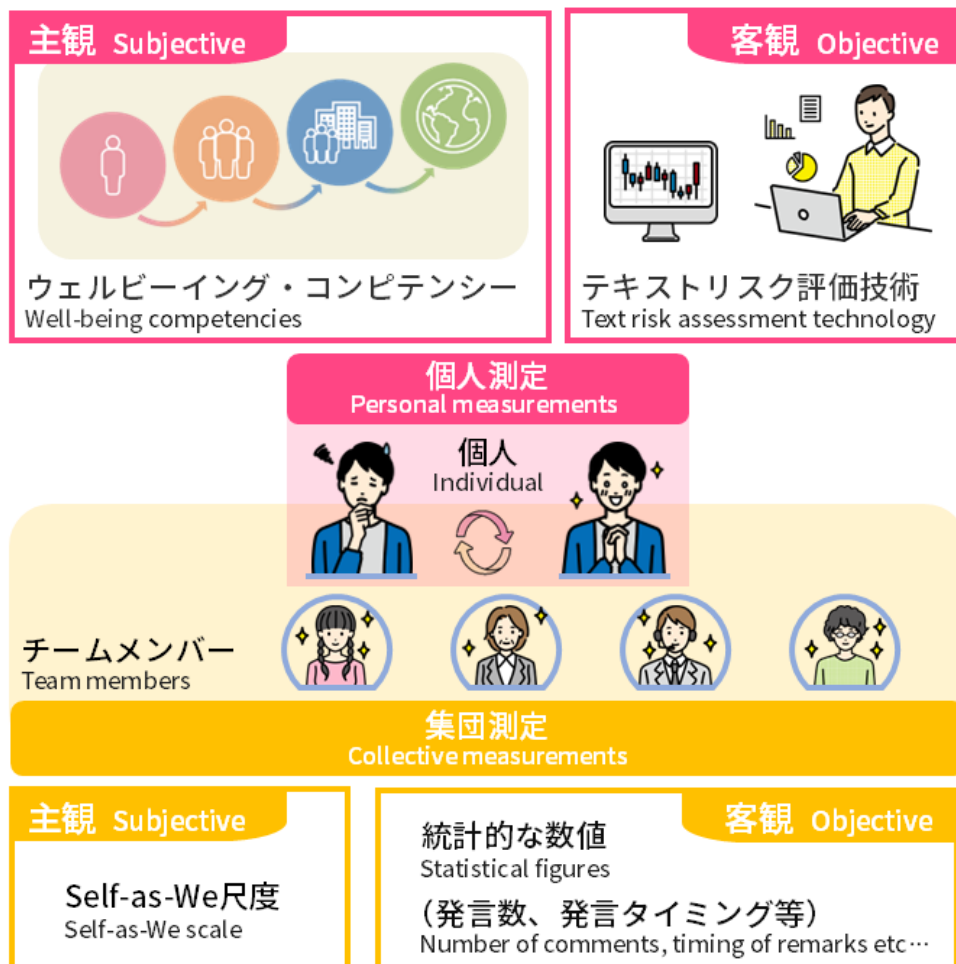
RESEARCH

γ06-01

主観・客観の両面からWell-beingを測る技術

個人と集団の関係性の状態把握により、
組織のパフォーマンスを改善します

#ウェルビーイング・人的資本経営



////技術課題

持続可能な社会の実現のために、Well-beingの継続的な測定が必要ですが、低コストかつ高精度に実現することができませんでした。

////研究目標

Well-being測定と支援の技術とそれらをつなぐ実践ノウハウの確立により、持続可能な社会の実現に寄与します。

---要素技術

- 社会心理学と教育心理学の知見を融合して策定したWell-beingに生きるための実践的資質／能力（“ウェルビーイング・コンピテンシー”）
- 確信度を用いたフィルタリングをすることで、精度を向上させた独自の計測技術

---市中技術差異点

- 個人と集団の関係性の範囲に注目した成長モデルと判断基準によって、職場や学校のメンバー自身の持続的なコンピテンシー開発を実現
- 確信度フィルタリングを用いない既存技術に対して、60%程度の精度優位性を実現

---適用ビジネス

企業の経営層・マネージャー層・従業員、学校・自治体などを対象に、ウェルビーイング・コンピテンシー：ホワイトペーパーおよび補助動画を公開（2024年上半年期）